

令和 2 年度 指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
芸 術	工芸Ⅱ	2	3	工芸Ⅰの履修

使用教科書	副読本等
工芸Ⅱ（日文）	なし

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
教材費4000円				○			○	

1. 担当者からのメッセージ（学習方法等）

遅刻・欠席することなく授業に集中し、作品に真摯に向き合い作業すること。
自己の内面を表現するために、論理的な思考と技術を身につけること。

2. 学習の到達目標

実技指導を通して工具の正しく安全な使い方を学び、制作する上で工夫することの大切さを理解させる。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：工芸への関心・意欲・態度	b：発想や構想の能力	c：創造的な技能	d：鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	工芸の創造活動の喜びを味わい、工芸や工芸の伝統と文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、心豊かな発想をし、よさや美しさなどを考え制作の構想を練っている。	創造的な工芸の制作をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	工芸や工芸の伝統と文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	授業の取り組む姿勢と作業内容	デザイン画やスケッチを提出させる。	授業の取り組む姿勢と作業内容	教科書などを利用し、他の生徒の作品も鑑賞する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 ～ 5月 中旬	色彩構成	色の配色を学ぶ			○	○	a：授業に積極的に参加しているか b：適切な配色ができていないか c：着彩の技術を適切に活用できているか d：他の生徒の作品を鑑賞し、自らの作品に反映しているか	作品による採点
	卓上オブジェ	立体感を把握する	○	○	○	○	a：授業に積極的に参加しているか b：素材を生かした表現ができているか c：金やすりなどを適切に使用し、作品作りができているか d：他の生徒の作品を鑑賞し、自らの作品に反映しているか	作品による採点
5月 下旬 ～ 7月	積層によるキーホルダー	配色や曲線を駆使した立体造形の美しさを学ぶ	○	○	○	○	a：授業に積極的に参加しているか b：積層の利点を生かした表現ができているか c：紙やすりや金やすりなどを適切に使用し、作品作りができているか d：他の生徒の作品を鑑賞し、自らの作品に反映しているか	作品による採点
8月 下旬 ～ 10月 月上旬	ランプシェード	シェードそのものの形や光と影が織り成す美しさを学ぶ	○	○	○	○	a：授業に積極的に参加しているか b：光と影が織り成す造形を美しく仕上げる事ができているか c：道具などを適切に使用し、作品作りができているか d：他の生徒の作品を鑑賞し、自らの作品に反映しているか	作品による採点
10月 中旬 ～ 12月	籐網による小物入れ	一本の籐を編むことで立体に変化していく工程を学び、日常生活に役立てる。	○	○	○	○	a：授業に積極的に参加しているか b：普段の生活に役立つような工夫があるか。デザイン的に生活に溶け込める工夫ができているか c：道具などを適切に使用し、作品作りができているか d：他の生徒の作品を鑑賞し、自らの作品に反映しているか	作品による採点
1月 ～ 2月	透明樹脂によるペーパーウェイト	小物を封入させることで不思議な世界観を表現するとともに、日常生活に役立てる。	○	○	○	○	a：授業に積極的に参加しているか b：封入する物を効果的に選択できているか。仕上げの磨きが適切に行われているか c：道具などを適切に使用し、作品作りができているか d：他の生徒の作品を鑑賞し、自らの作品に反映しているか	作品による採点